

国語科（現代文B）学習指導案

一日時 平成二十八年十月二十八日（金） 第六限

指導者 青 ちづる

二 学 級 第二学年八組（男子 三十四名 女子 六名）・理系クラス

三 場 所 視聴覚教室

四 単 元 文章の主題について主体的・協働的に理解を深めよう。

五 単元の目標

(1) 文章を読んで、構成、展開、要旨などを的確にとらえ、その論理性を評価すること。  
(2) 目的や課題に応じて、収集した様々な情報を分析、整理して資料を作成し、自分の考えを効果的に表現すること。

(1) 文章を読んで、構成、展開、要旨などを的確にとらえ、その論理性を評価すること。  
(2) 目的や課題に応じて、収集した様々な情報を分析、整理して資料を作成し、自分の考えを効果的に表現すること。

六 取り上げる言語活動と教材

(1) 文章を読んで関心をもった事柄などについて課題を設定し、資料を調べ、その成果をまとめて発表すること。  
(2) 教材『「内的成長」社会』上田紀之 『現代文B』数研出版』と新聞記事

七 単元の具体的な評価規準

(1) 文章を読んで、構成、展開、要旨などを的確にとらえ、その論理性を評価しようとしている。

(2) 目的や課題に応じて、収集した様々な情報を分析、整理して資料を作成し、自分の考えを効果的に表現しようとしている。

八 指導観

(1) 単元観  
主題に沿った壁新聞を作ったり、班ごとに解決策を考えることで、主体的・協働的に「中間社会の凋落」について考えることができる。

(2) 学習者観  
学習態度は良好であり、積極的に発言する生徒も多い。発問は、簡単なもの

(3)

よりも、難しいものを用意し論理的思考力を駆使させる方が生徒の積極性が発揮される。グループ学習の場面でも、協力して行うことができる生徒が多い。教材観  
高校生ではあまり考えたことがないであろう「中間社会の凋落」について、自分たちが抱える問題としてとらえるきっかけとなり得る教材である。また、新聞記事を用いることで、自分に身近な問題であるという実感をもたせることができる。

九 単元の指導計画

次時間	学習活動	言語活動に関する指導上の留意点	評価規準 評価方法
第1次 4時間	<ul style="list-style-type: none"> <li>本文の内容を読解する。</li> <li>中間社会が凋落している現状を読み取るとともに、筆者の考える解決策やあるべき社会像を理解する。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>語句の意味や指示語について確認させる。</li> <li>筆者が考える、中間社会の凋落の状況や、グローバリズム・ナショナリズム・原理主義の併存について、ペアで検討して記述させる。</li> <li>筆者の考える、あるべき社会像を理解させる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>◆記述の確認 (予習プリント・ノート)</li> </ul>
第2次 2時間	<ul style="list-style-type: none"> <li>実際の新聞記事を切り貼りした壁新聞を作ることによ</li> <li>り、中間社会の凋落を、自分たちに身近なものとして実感する。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>4〜5名を一つの班とし、中間社会の凋落に関する記事を集めさせ、一つにまとめさせる。</li> <li>班で一つテーマを決めて新聞を作らせる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>◆記述の確認 (切り抜きした新聞・ワークシート 1)</li> <li>・(2)</li> </ul>
第3次 2時間	<ul style="list-style-type: none"> <li>班で一つの政党を作り、自分たちがまとめた新聞にあ</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>新聞でまとめた問題点を解決できる政策を、班で話し合うことによ</li> <li>って考えさせる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>◆記述の確認 (ワークシ</li> </ul>

<ul style="list-style-type: none"> <li>問題点を解決する政策を考える。</li> <li>演説会を行う。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>自分たちの扱う問題点と政策がきちんと伝わるような演説内容を心がけさせる。</li> </ul>	ト3・4・5
◆行動の確認(演説の内容)		

十 本時の目標

目的や課題に応じて、収集した様々な情報を分析、整理して資料を作成し、自分の考えを効果的に表現しようとしている。「指導事項」の(エ)。

十一 本時の評価規準

目的や課題に応じて、収集した様々な情報を分析、整理して資料を作成し、自分の考えを効果的に表現しようとしている。「指導事項」の(エ)。

十二 本時(全八時間中の八時間目)の指導

学習段階	学習内容	学習活動	言語活動における指導上の留意点
導入 5分	<ul style="list-style-type: none"> <li>本時の学習内容を知る。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>進行役の生徒はワークシート4を配布し、説明する。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>説明に不足があれば補う。</li> <li>壁新聞が「問題理解」に、演説が「問題理解」にあたることを理解させる。</li> </ul>
展開 40分	<ul style="list-style-type: none"> <li>班(政党)ごとに演説を行う。(1〜8班)</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>順番が来た班(政党)は、3分以内で演説する。</li> <li>時間は計時係がカウントタイマーで示す。</li> <li>新聞を示して問題点を明らかにした上で、政策(解決策)を発表する。</li> <li>すべての発表が終了した</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>発表が円滑に進行するように観察・補助する。</li> <li>◆本時の評価規準</li> <li>◆記述の確認(ワークシート4・壁新聞)</li> <li>◆行動の確認(演説の内容)</li> </ul>
<ul style="list-style-type: none"> <li>各班1票を</li> </ul>			

<p>最終 5分</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>本時の学習内容を振り返る。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>投票</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>誰に投票するか協議する。</li> <li>投票</li> </ul>
	<ul style="list-style-type: none"> <li>配布された振り返りシートを用いて、本時までの取り組みを自己評価する。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>進行の指示で投票する。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>ら、班ごとに誰に投票するか協議する。</li> </ul>
	<ul style="list-style-type: none"> <li>振り返りシートの質問項目について説明し、本時の学習内容を振り返らせる。振り返りの大切さに気づかせたい。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>◆記述の確認(振り返りシート)</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>個人で記入したワークシート4を持ち寄り、評価を班で検討した上で投票する班(政党)を決めさせる。</li> </ul>

十三 評価の観点とルーブリック

問題解決	問題理解	レベル
<p>中間社会の凋落を解決するための、具体的な、実際のな方策を示すことができる。</p>	<p>中間社会の凋落の例としてふさわしい複数の新聞記事を選び、共通する一つの問題点をあげるができる。</p>	3
<p>具体的ではないものの、中間社会の凋落を解決するための方策を示すことができる。</p>	<p>中間社会の凋落に関連する新聞記事を複数選ぶことができる。</p>	2
<p>感想にとどまっているもの、中間社会の凋落を解決するために考えることができる。</p>	<p>中間社会の凋落に関連した新聞記事の一つは選ぶことができる。</p>	1